第6号

兵庫県のり漁場環境情報（西播海域　３　号）

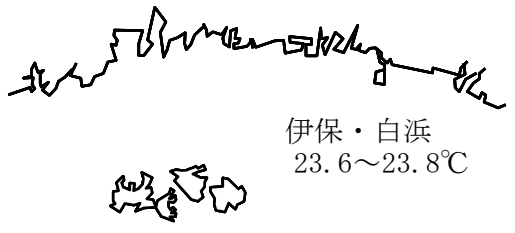
2026年 10月30日発行
兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻のBellerochea horologicalis(らせん状)が多い状況です。そのため、窒素は赤穂漁場で１μg-at／Ｌ以下、その他の地先漁場で１μg-at／Ｌ台、沖合漁場で概ね２μg-at／Ｌ台の値となっています。

（珪藻、栄養塩）

Bellerochea horologicalis発生量は地先漁場で150～200細胞/ml、前回確認されなかった赤穂漁場でも多く確認され、沖合漁場で60～100細胞/ml確認された。また、海域全般にタラシオシラの群体が確認されたが発生量は少なく、前回確認された小型珪藻もほとんど確認されなかった。そのため、リンの値は前回よりもやや増加していた。

水温図

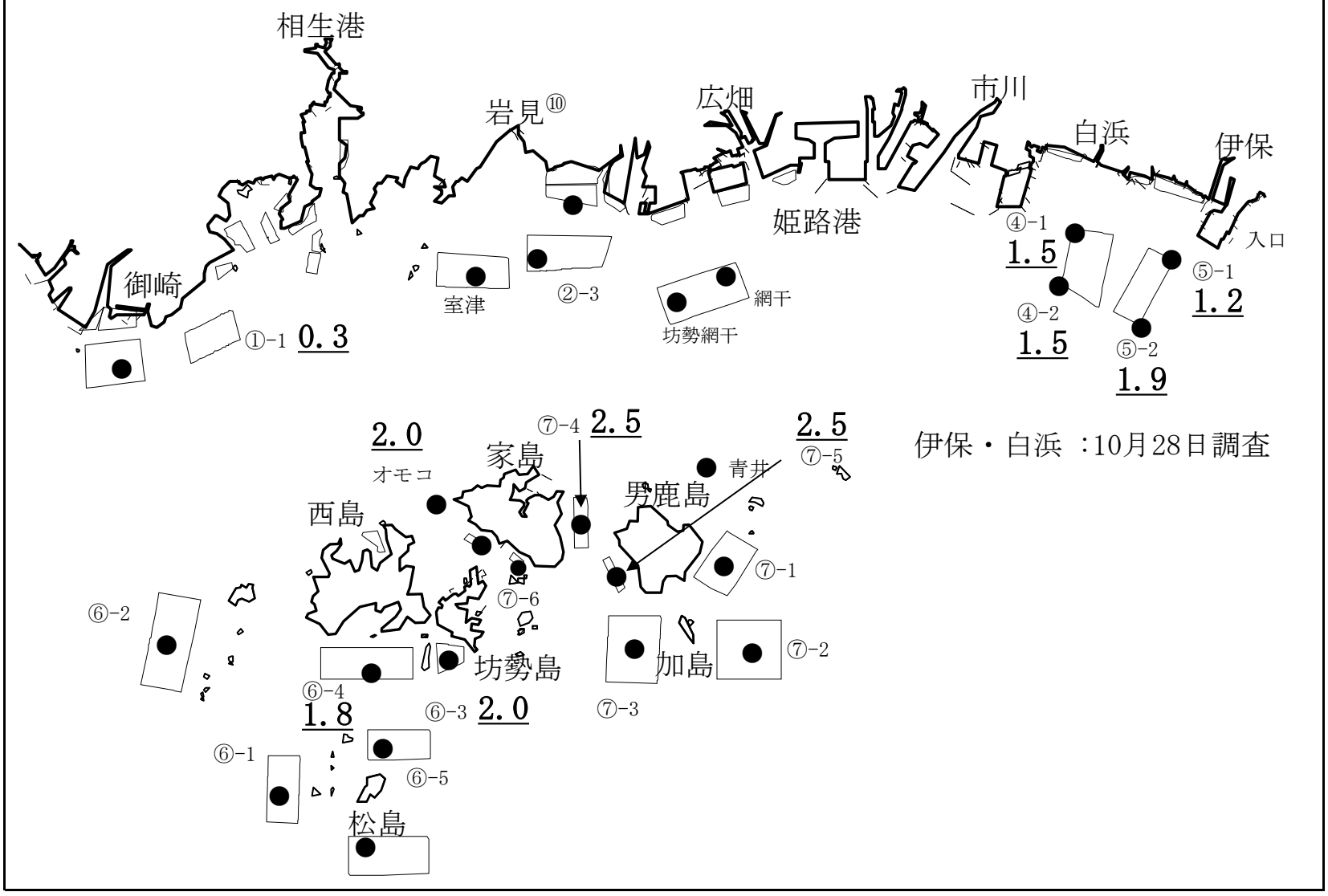


		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.3	1.3	3.7	2.3
	リン	0.10	0.22	0.54	0.50
家島・坊勢	窒素	2.1	2.2	3.7	1.3
	リン	0.30	0.32	0.66	0.42
		(10/22)			(10/31)

※窒素の平均は網干を除く。

栄養塩（窒素）図

2026年 10月30日調査



伊保・白浜 ：10月28日調査